

平成25年度 地方公共団体からの寄附について

以下のとおり、寄附を受領しましたので公表いたします。

公表者：国立大学法人弘前大学長

寄附者	寄附の金額	受領年月日	内 容	寄附に至った経緯	備 考
青森県	37,000,000円	平成25年4月26日	<p>寄附講座 (地域がん疫学講座)</p> <p>青森県のがんの発生・罹患の詳細を把握し、それをういた研究を行い、その結果を青森県のがん対策に資することを目的とし、中核施設として弘前大学大学院医学研究科に寄附講座「地域がん疫学講座」を設置する。</p> <p>また、本寄附講座が行うがん疫学研究の成果の公表やがん検診の成績評価を行い、がん施策の提案を行うとともに、がんの罹患状況を把握するため青森県内のがん登録（院内がん登録と地域がん登録）の普及・充実を図り、がんをはじめとした生活習慣病にかかる地域の健康意識の向上を図るための人材を育成する。</p>	<p>弘前大学大学院医学研究科では多くの基礎医学系講座・臨床医学系講座でがんの研究を行っている。また、弘前大学医学部附属病院ではほとんどの診療科でがん臨床を行っており、さらに地域がん診療連携拠点病院にも指定されていることから、弘前大学はがんの研究やがん診療についての教育だけでなくがんの地域医療の拠点としても青森県内で大きな役割を担っている。</p> <p>そして、地域の高齢化や生活習慣の変化などによってがんが診療に占める割合は年々増加しており、これに対応するために弘前大学医学部附属病院では腫瘍センターを設置している。また、公衆衛生学分野は社会医学講座が担っており、これまでがん疫学やがん対策について多くの研究発表を行ってきた。</p> <p>しかし、現段階では青森県内のがん罹患・死亡などについてのデータがないために、特に青森県に特化したがん疫学研究やがん対策の提言などは困難な状況である。</p> <p>今後、全国的にさらにはがんの罹患・死亡が増加すると予測されていること、そして青森県が全国で最も平均寿命が短く、がん死亡率が最も高いことから、包括的ながん対策（一次、二次、三次予防）を立てることが急務である。そのためには、青森県がん登録のデータを疫学的に解析し、それに基づいたがん対策を提案し、さらにそれをデータに基づいて評価する公衆衛生学的研究が必要であることから、是非とも寄附を受け入れる必要があった。</p>	<p>寄附講座設置日：H25.4.1 設置期間：H25.4.1～H27.3.31 平成25年度 37,000,000円 平成26年度 26,500,000円(予定)</p>

平成25年度 地方公共団体からの寄附について

以下のとおり、寄附を受領しましたので公表いたします。

公表者：国立大学法人弘前大学長

寄附者	寄附の金額	受領年月日	内 容	寄附に至った経緯	備 考
弘前市	15,000,000円	平成25年5月8日	<p>寄附講座 (地域健康増進学講座)</p> <p>弘前市を中心に「地域保健」、「健康づくり」を軸として地域や職域などを単位とした健康保持増進のための研究を行い、もって国民の健康に資することを目的とし、中核施設として弘前大学大学院医学研究科に寄附講座「地域健康増進学講座」を設置する。併せて、地域保健活動を推進するため、本寄附講座が中心となり地域保健、健康推進に関わる人材の育成を行う。</p> <p>また、本寄附講座が行う健康科学に関わる研究成果の公表や各種講演の企画や開催等を通じ、地域住民に対し生活習慣病の予防、改善策や健康の維持、増進策に関わる知識を啓発、普及するとともに、これに関わる具体的な方法や行動を助言、指導する。さらに、これに関わる社会的基盤の整備と地域システムの構築を目指す。</p>	<p>現在、大学院医学研究科では、社会医学講座及び健康・スポーツ医科学センターを中心として、実際の一般地域住民を対象とした地域保健活動の実践及びその効果を検証する研究を行っている。</p> <p>本寄附講座は、社会医学講座及び健康・スポーツ医科学センターと密接に連携する関係とし、共同研究、学部学生・大学院学生への教育、同講座、健康・スポーツ医科学センターが管理する研究機器の共同利用、セミナー等研究行事の共催を行い、当該教育研究のさらなる充実を図ることを目的とするものである。特に、本寄附講座は、全国的にも低迷している弘前市のがん、脳血管疾患、心疾患をはじめとする生活習慣病の発症率の高さや、これに起因する平均寿命の短さをもたらす要因、メカニズムを医学的観点から解明し、これを予防、改善していくための具体的な健康づくり対策を、弘前市との連携により考案、実践し、その効果を検証する。また、これに関わる社会的基盤の整備と地域システムを構築することを目的とする。</p> <p>本寄附講座の設置は、本学における教育、研究をさらに推進するものであり、また、地域住民の生活習慣病の予防・改善策や健康の維持・増進対策の構築が期待されることから、この目的を実現するためにも、是非とも寄附を受け入れる必要があった。</p>	<p>寄附講座設置日：H24.4.1 設置期間：H24.4.1～H27.3.31 平成24年度 15,000,000円 平成25年度 15,000,000円 平成26年度 15,000,000円(予定)</p>

平成25年度 地方公共団体からの寄附について

以下のとおり、寄附を受領しましたので公表いたします。

公表者：国立大学法人弘前大学長

寄附者	寄附の金額	受領年月日	内 容	寄附に至った経緯	備 考
秋田県 大館市	20,000,000円	平成25年10月10日	<p>寄附講座 (大館・北秋田地域医療推進学講座)</p> <p>地域医療を担う優秀な若手医師育成のための卒前・卒後医学教育の在り方に関する研究と、地域医療の現場で国際水準の質の高い医療を提供できる医師養成のための生涯教育の実践を通じて、地域医療、特に大館・北秋田地域における医療連携に関する研究を行うとともに、その研究成果の普及活動を行い、地域医療の充実と住民の健康福祉の向上に寄与することを目的とする。さらに、がんを中心とする同地域において重要な疾患の予防、診断、治療に関する研究を通じて、地域住民の社会福祉の向上に寄与することを目的とする。</p>	<p>弘前大学大学院医学研究科では、多くの臨床医学系講座、総合医学教育学講座、社会医学講座がそれぞれの担当の中で地域医療に関する講義を行うとともに、学外の地域医療機関の協力の下で診療参加型臨床研修を実施し、地域医療に関する卒前臨床医学教育の充実に努めている。一方、医学教育の在り方に関する検討の中で、地域医療を担う優秀な医師の養成にあたっては、卒前医学教育、卒後臨床研修、大学院教育、医師生涯教育を一貫して見直し、改善を図っていくことの重要性が指摘されている。</p> <p>北秋田地域の中核病院である大館市立総合病院は、消化器外科学講座をはじめとする臨床医学系講座との密接な協力関係の中で卒前・卒後医学教育の場を提供し、一方、医学研究科は大学院教育や生涯教育の場の提供、さらに、がん等の地域における重要な疾患に対する診療支援等を行うことで、相補的に北秋田地域の医療の充実と社会福祉に貢献してきた。</p> <p>本寄附講座の設置は、多くの臨床医学系講座、総合医学教育学講座、社会医学講座との連携の下、地域医療に対応できる診療能力を有する医師育成のための卒前・卒後医学教育の在り方に関する研究、及びがんを中心とする地域において重要な疾患の予防、診断、治療に関する研究をさらに推進するものであり、また、大学院教育も含めた医師の生涯教育を実践することで、地域医療、特に北秋田地域における地域医療の一層の充実を図る必要があることから、寄附を受け入れることとしたものである。</p>	<p>寄附講座設置日：H25.10.1 設置期間：H25.10.1～H30.3.31 平成25年度 20,000,000円 平成26年度 30,000,000円(予定) 平成27年度 30,000,000円(予定) 平成28年度 30,000,000円(予定) 平成29年度 30,000,000円(予定)</p>